

**実践事例** 中学部／教科別の指導：数学

『自分から数字を見て、数字と同じ数の具体物をそろえ、動物にえさをあげよう』

1. 生徒の実態と望む姿

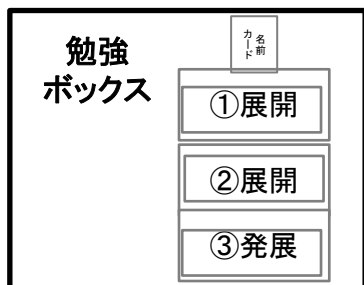
- ・中学部1年女子生徒
- ・教師の提示する数字を見て具体物を数えとるとき、数詞を数えとばしたり、同じ数詞を2回続けたりして数えとるため、提示された数字より少ないことや多いことがある
- そこで本題材では以下の望む姿を設定した
- 「動物のえさやり」で、提示された数字(6～10)を見てえさをそろえるとき、10個の枠のある数えシートを使って、数字と同じ数を数えながら数対象をそろえてほしい

2. 教材の概要 教材：『動物のえさやりゲーム』

- ・数字を見て、数えシート(四角の枠)にえさ(りんご)を数えながら数対象を作り、袋にまとめたえさ(アップルパイに変わる)を動物にあげる仕組みの教材

3. 授業のポイント

**ポイント1** 進んで活動するための学習環境の工夫(導入)



【進んで取り組むためにはどうすればいいかな?】

- ・各生徒に出席をとったときに名前カードを自分の棚の上に貼るようにして自分の課題と場所を意識できるようにし、①～③の活動を取りにいたり、見たりすることで、自分の学習活動がわかるようにする

授業構想チェックシート 意欲チェック 学習環境3③4①

**ポイント2** 進んで活動するための教材の工夫(導入、展開、発展)

【進んで取り組むためにはどうすればいいかな?】

数字の歌カード



- ・数字の歌から活動を始めることで、数字の表記や数字の歌を見聞きして、数学の授業が始まることわかる
- ・見たことのあるかわいい生物のイラストが好きという実態から、えさをあげる対象にして、意欲的に取り組めるようにする
- ・えさをあげた後に、そろえた数が正解か不正解かを、動物のイラストの表情でわかるようにする  
(数字よりそろえた数対象が少ない→痩せて青色の顔、数字よりそろえた数対象が多い→太って苦しい表情)
- ・たしかめシートを使って、自分で正解か不正解に気付くことができる

たしかめシート



数のまとまりとわかるように、りんごのキューブを袋に入れて、アップルパイに変わったえさを動物にあげる



表情で正誤がわかる動物



授業構想チェックシート 意欲チェック 教材について1④⑦